口頭試験を受験直後に書いた受験生へのアドバイス（一部抜粋）

* ・1時間前には試験会場に到着することをお勧めします。私は2時間前に到着しましたが、受付では直ぐに対応してもらえ、また昼食のために外出することも可能でした。また、持参した PC やケータイは控え室で充電出来ました。ただし、試験会場に向かう時には全てのデジタル機器の電源をオフにしました。
* ・5感を総動員したアウトプット練習をお勧めします。想定問答を準備して、スマホで録音し、何度も繰り返し聴きました。ブツブツと小さく声を出して話ししたり、無音で話す練習をしました。覚えにくいものは動作を交えて、アウトプット練習したことは有効でした。
* ・3義務2責務を確実に記憶する。緊張して度忘れすることもあります。例えば、グーは信用失墜行為の禁止、チョキは秘密保持の義務、パーは公益確保の義務と動作を交えて覚え、本番では動作に助けられました。
* ・直前は、原稿を見ないで口頭説明の所要時間を何度も測定した。経歴と業務内容の詳細を5分程度と指定された。早口で説明するのと、ゆっくり説明するのでは話す時間が変わります。何度も所要時間を測定し、話すべき範囲とそのペースを安定させるようにしましょう。
* ・想定問答の用意と想定外の質問への対応。想定問答は8分野で合計60ほど用意しました。何度も声を出してみて、説明が分かり難いところは、平易な言葉で説明しやすいように修正しました。いくら用意しても想定外の質問はあります。その場合にも慌てずに、まずは結論を伝え、試験官の反応を確認しながら補足説明をするように心がけましょう。
* ・質問の意図が不明な場合は、その前提や意図を必ず確認しましょう。今回は、幸いにも意地わるな質問はありませんでしたが、質問の意図が不明な場合にはこういう前提での質問でしょうかと確認しましょう。方向違いの回答をして貴重な時間を無駄にすることは避けたいです。
* ・試験官の表情の変化をみる。基本は相手の目を見ることですが、ずっと目を見るのも失礼なので、鼻を中心に目、口、眉、ほほの動きから相手の感情の動きを感じられると、案外落ち着きます。
* ・背筋を伸ばし少し前屈み(かがみ)にする。椅子の背にはもたれず、少し浅めに腰掛けて背筋を伸ばします。両手は軽くグーとして、それぞれ膝の上に軽く置きます。顎をひいて、すこし口角を上げて、柔らかい表情を意識する。背筋は垂直というよりは、5度ぐらい前屈みにすることで、前向きで積極的な雰囲気を伝えることができます。

 面接官から聞かれた内容や、準備した資料、想定質問と回答例等もありますが、

それは指導を希望された方にお渡ししたいと思います。

　受験生の皆様の健闘をお祈り申し上げます。グッドラック！

　Lucky Ocean

2016年11月14日